

京都薬大

AIで学生支援サービス 問い合わせに自動応答

京都薬科大学は人工知能(AI)を活用した学生支援サービスを今月から試験的に始めた。木村情報

に寄せられた問い合わせを約300のQ&Aにパターン化して、アイキューに組み込んだ。事務手続きなどの疑問解決にかかる学生の負担を軽減し、研究や実務実習、国家試験対策に専念できる環境を整える。

た。木村情報技術が開発した「AI-Q」(アイキュー)を導入。学生からの問い合わせにAIチャットボットが24時間自動で対応する。

これまで学生から事務局

12月までの試験運用期間中に学生からフィードバックを受け、利用状況なども調べる。学修支援効果が認められれば、2020年度の正式導入に向けて準備を進める。本格運用時には約1200のQ&Aを組み込む予定。